

姉妹・友好クラブ交流会

■平成30年11月16日 16:30~16:35 会長あいさつ



◇本日は、皆さん、ようこそこの会に参加してください。有難うございます。

2820 地区ガバナーの高橋賢吾様にも、ご参加いただき、「グアムサンライズ」と「苫小牧東」との、友好

クラブ締結の立会人になっていただくことになっております。

高橋様は、「ロータリーの友」では、「漢気の人」と紹介されておりますが、本日の行動を見ると、まさにその通りの方だと思います。よろしくお願いたします。

◇この交流会は、私共「龍ヶ崎中央クラブ」が企画した、中央クラブと、姉妹・友好クラブとなっている、南国「グアムサンライズクラブ」と北海道の「苫小牧東クラブ」との、三者交流の会合です。

三クラブの名前の Guam の「サンライズ」と、苫小牧東の「東」と、当クラブの「中央」を、まとめて無理に洒落を言えば、

はるか「東」に上る「日の出（サンライズ）」を、その真ん中「中央」で眺める

となるのでしょうか。

◇我々、三つのクラブは、今後も、長く永く、国際奉仕・社会奉仕のための、**トライアングル**を続けたいと思っております。高橋ガバナーも見守っていて下さい。

皆さん、大いに楽しく頑張りましょう。

■16:35~16:40 RI 第 2820 地区高橋賢吾ガバナー



◇高橋ガバナーには公式訪問でお疲れのところ、龍ヶ崎中央の例会場を 15:00 頃に出発し、40 分程架けてこの成田の地にお出で戴きました。できる

ものであれば、この公式訪問の日を避けたかったのでありますが、三クラブの調整がこの日でなければ無理であったため強行した次第です。

■16:40~16:45 佐藤聡苫小牧東 RC 会長代理



◇前日まで藤森会長がお出でになる予定でありましたが、急に体調を崩されて同行できなくなりました。前日は奇しくも龍ヶ崎中央 RC と同じ公式

訪問であったそうで、本当にお忙しいスケジュールを縫

ってご参加戴きました。翌日行われた親睦ゴルフでは急遽代理にも関わらず準優勝を飾り本人も大変喜ばれていた。

■16:45~16:50 Bobbie Guam SunriseRC 会長



◇グアムからは、わざわざボビー会長とマイク夫妻に参加戴いた。苫小牧東 RC の要望にグアム側が応える形であったが苫小牧東 RC の国際奉仕に架ける

情熱は素晴らしいものがある。Xmas Drop についても単なる支援金ではなく、汗を流す奉仕をしたいという思いで実現したのが梱包作業である。今後もトライアングルの関係をいつまでも継続したいと願うものである。

■16:50~17:00 友好クラブ締結式



◇いよいよ本日のメインイベントである。本来であれば Guam に赴くなりして締結するのが筋であるのだが、新千歳からの直行便が廃止さ

れ、突然の北海道胆振東部地震等の影響もあり、今回は中間でもある龍ヶ崎中央 RC が音頭をとり、苫小牧東 RC と Guam SunriseRC の友好クラブ締結の更新をお膳立てしたものである。通常は例年 12 月初旬に Xmas Drop のためグアムに行つて梱包作業を行なうのだが、諸事情もあり今回は成田を起点として交流の場を設けたものである。

■17:00~17:05 乾杯 水元修治会員（苫小牧東）



◇文字通り苫小牧東 RC の重鎮である。龍ヶ崎中央 RC との繋がりを持ったのも水元先生の貢献が大きい。80 歳を超えながらゴルフもされるしカラオケも声量があつて大変上手である。なにしろお元気である。これまでの経緯を聞きながら、先生の健康に肖りながら元気に乾杯をして戴いた。

■17:05~17:30 歓談

◇この司会進行は川上副幹事。全員で合唱した「You are my sunshine」も彼の発案である。



■17:30～17:35 Xmas Drop 事業支援金贈呈式



◇先にも述べたが今回は Guam へは行かず支援金を渡すことになった。支援金といっても Xmas Drop の物資購入を Sunrise Club に委ねるのだ。青山副会長が

渡したシールは、梱包作業の際ダンボール箱に張ってもらうためのものだ。今回は上映しないが藤井年度においては、米軍の広報 YouTube に数分以上このシールが上映されたのである。これは今でも観ることができる。龍ヶ崎中央 RC が \$500、苦小牧東 RC は \$1,000 を贈呈した。



■17:35～17:40 見舞金 (Guam Sunrise Club)



◇平成 30 年 09 月 06 日、北海道胆振地方を震源とする震度 7 を記録する大地震が発生した。苦小牧はこの震源地に近くブラックアウトを始めとする大きな影響を受けてしまった。特に酒屋を営む平田会員は新聞に掲載される程の大きな災害を受けてしまった。龍ヶ崎中央は国内のためすぐに義援金を贈ったが、Guam Sunrise Club ではその機会が無かったため、今回義援金を渡すことになったものである。

大きな影響を受けてしまった。特に酒屋を営む平田会員は新聞に掲載される程の大きな災害を受けてしまった。龍ヶ崎中央は国内のためすぐに義援金を贈ったが、Guam Sunrise Club ではその機会が無かったため、今回義援金を渡すことになったものである。

■17:40～17:50 Guam Sunrise 訪問記 (苦小牧東 RC)



◇いよいよ奉仕事業活動報告である。トップは苦小牧東 RC の佐藤正会員である。龍ヶ崎中央 RC と知り合って Xmas Drop の梱包作業を行なうに至った経緯や Guam Sunrise Club との最初の友好クラブ締結の様子、

その他平和慰霊公苑への日章旗授与や清掃作業等を報告された。又、本年 9 月 1 日は龍ヶ崎中央 RC との友好クラブ締結のため 8 名がお邪魔し締結を行なった。その際、北海道ならではの大学アイスホッケー交流戦の支援活動に参加させて戴き大変な感激を覚えたものであった。

そもそも苦小牧東 RC の縁はクラブのホームページである。そこに Xmas Drop 事業の掲載しているのを見つけられ、はるばる苦小牧から龍ヶ崎迄その事業を直に確認するためにお出でになったのが始まりである。

■17:50～18:00 Sea Haven 事業 Mike Perrin (Guam)



◇続いてマイクさんの登場である。Wifi の状況や機器の接近等の環境の下であったので、なかなかプロジェクターの照射が上手く行かない中ではあった

が、これからの事業「Sea Haven」について詳しく説明がなされた。故 Edmund J.Kalau 氏は牧師ではある。過去のナチス時代の贖罪を負って活動されていたと聞いている。龍ヶ崎中央 RC 15 周年記念の姉妹クラブ継続式の際には、Sea Haven 支援金を持参した際、元気なお姿をお見受けしたものだ。今回の事業はこの病院船 (Sea Haven 号) の燃料費を支援しようとする事業である。この病院船は 1～2 週間の航海をするだけで 300 万円の程の燃料費を必要とする。それを何とか工面できないかと活動を始めたものである。

■18:00～18:10 国際奉仕事業 (龍ヶ崎中央 RC)



◇当クラブは平成 30 年 06 月 23 日に行なった 20 周年記念事業の様子をビデオ形式で皆に紹介した。短編ではあったがアップテンポの音楽入りを作成

したので肩が凝らず気軽に鑑賞できたのではないと思う。5 周年記念は Guam の ⚽ 少年を招待し、10 周年では龍ヶ崎の ⚽ 少年を Guam に遠征させた。その時はただの親善試合ではなく、Home Stay を義務付けたので少年たちは慣れない環境でさぞ緊張したことであろう。そして 15 周年は Guam の National Team ⚽ の親善試合を行い、今回 20 周年は 7 人制女子 ⚽ Team 「Grace」と共に Guam に赴き親善試合を行った。支援のみならず記憶に残る活動を行った。

